

単元名 5 自らの考えを ー合意形成に向けて話し合おう
配当時間 4時間

- 単元の目標** (1) 共通点から複数の発言を結び付けて、一つの提案にまとめることができる。
 (2) 提案を分類・整理し、観点を決めて検討したり、互いの意見の長所を生かしたりして話し合うことができる。
 (3) 合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとする。

標準的な展開例

12210211_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもち、本時の学習課題をつかむ。 ★課題を見つけ、議題を決めよう。 ○地域社会や学校生活の中から、解決したい課題を見つける。 ○見つけた課題を発表して、クラスで課題を一つに絞り込む。 ○次時の準備をする。 <p>2～3 グループで提案を出し合い、観点到即して具体的な提案を絞り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 ★グループで提案を出し合い、具体的な提案を絞り込もう ○前時に決定した課題に対して、それぞれのグループで、具体的な提案を出し合う。 ○出た案を検討し、グループの提案を決定する。 ○グループごとに、提案の準備をする。 <p>4 全体会議を行い、課題解決に向けた提案内容を決定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★全体会議を行い、課題解決に向けて提案を決定しよう。 ○話し合いの目的、役割などを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもたせる。 ・地域社会や学校生活、将来のことなどの中から関心のある事柄を選び、議題を探させる。 ・「発想を広げる」(p. 240)などを参考に、各自が幅広い発想ができるように支援する。 ・「①課題を決める」(p. 136)を参考に考えさせる。 【評】地域社会や学校生活の中から課題を見つける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・一つの課題について、全員で話し合い活動を行っていくことになるので、様々な提案が出てきそうな課題を選びたい。 ・グループ編成をある程度決めておくといよい。 ・話し合いの前に、「評価しながら聞く」(p. 26)、「話し合いを効果的に進める」(p. 135)などを見直させ、話し合いの基本について振り返らせたい。 ・前時に決定した課題を示し、この課題を解決する提案を考えていくことを伝える。 ・本時はブレインストーミングで自由にアイデアを出し合うことを伝える。 ・「②-①ブレインストーミング」(p. 137)、「話し合いの方法」(p. 242)を参考に、イメージやポイントを説明する。 ・話し合いでは、発言しやすい雰囲気を作ることが大切なので、どんな意見でも大切に、相手の意見を否定しないことを徹底させる。 ・グループ内で、司会、書記を決める。いろいろな生徒が役割を経験させるため、グループの人数は5～6人が望ましい。 【評】具体的な提案を出し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する ・提案を決定する際、以下の観点を意識させたい。 <ul style="list-style-type: none"> ①必要性 ②効果 ③実現の可能性 ・根拠や意義を考えて説得力のある提案をさせる。 ・「②-②グループごとに具体的な提案をまとめる」(p. 137)を参考にさせる。 ・司会や書記などの役割は、事前に決めておくといよい。 ・司会の指導が重要なので、司会役の生徒には可能な限り事前に指導を行う。 ・意見の出し合いで終わるのではなく、最終案

○各グループからの具体案を発表し合う。

○提案を分類・整理する。

○観点を決めて、提案を検討する。

- ・目的に合っているか。
- ・実現性があるか。

○互いの意見を生かして、合意形成に導く。

○学習を振り返る。

- ・共通点などを見つけて、提案を整理したか。
- ・合意形成するために、どんなことに気を付けたか。

にまとめていく話し合いであることを意識させる。

・「全体会議を開く」(p.138～p.139)で合意形成に導く過程を確認するとともに、「話し合っ
て合意を形成するには」(p.139)を参考に、
合意を形成するためのポイントを確認さ
せる。

・グループごとに、提案とその理由を発言さ
せて、ノートなどにその要点を記録させる。
・各グループの提案を、共通点ごとに分類さ
せる。

【評】提案を共通点ごとに分類する活動を通し
て、「知識・技能」を評価する。

・各グループの提案を観点ごとに検討し、意見
を話し合わせる。

・単に比較するだけでなく、互いの意見のよい
ところを組み合わせることも考えさせる。

・座標軸などで可視化しながら提案を整理させ
る。

【評】合意形成に向けて話し合う活動を通して
「思考・判断・表現」を評価する。

・今後、話し合いをする際に、意識したいこと
を確認させる。

【評】学習を振り返る活動を通して、「主体的
に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

文章を読むときには、内容の信頼性や客観性を吟味し、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討し
て、批判的に読むことが大切である。同じテーマに関する二つの文章を比較しながら、評価することを通して、
批判的に読むことを学ばせたい。さらに、自らの考えを批評文として書くことで、説得力ある文章にするための
工夫を学ばせたい。多様な考え方の中で対象を評価することで、自分の考えを確立させていきたい。

また、こうした学習と関連させながら、社会的な課題などについて、違う立場からの意見を生かし合い、論理
的に合意を形成する話し合いの仕方も学ばせたい。

「評価しながら聞く」(p.26)

「話し合いを効果的に進める」(p.135)

「発想を広げる」(p.240～p.241)

「話し合いの方法」(p.242～p.243)